

# 2026年2月期 第3四半期 決算説明資料

2026年1月14日  
証券コード: 9326 株式会社 関通

# 2026年2月期 第3四半期 決算ハイライト

完全復活から、構造的成長へ。

HD化で物流だけではなく、ITも主力事業として成長戦略を加速

## 【通期売上高・上方修正】

増収増益・黒字転換

売上高134億円、営業利益1.5億円。前年同期のサイバー攻撃による赤字から鮮やかにV字回復を達成、通期では上方修正。原価高騰により利益は現状維持も、計画は達成見込み。

## 物流事業の順調な推移

大型リプレイス成功、他社WMS（倉庫管理システム）からの乗り換え案件等により売上増加。海外物流も今後対応開始。

## その他事業の飛躍的成長

大型開発案件の獲得と「サイバーガバナンスラボ」の立ち上げが順調に進捗。体制を整え、新たな収益源の獲得へ。

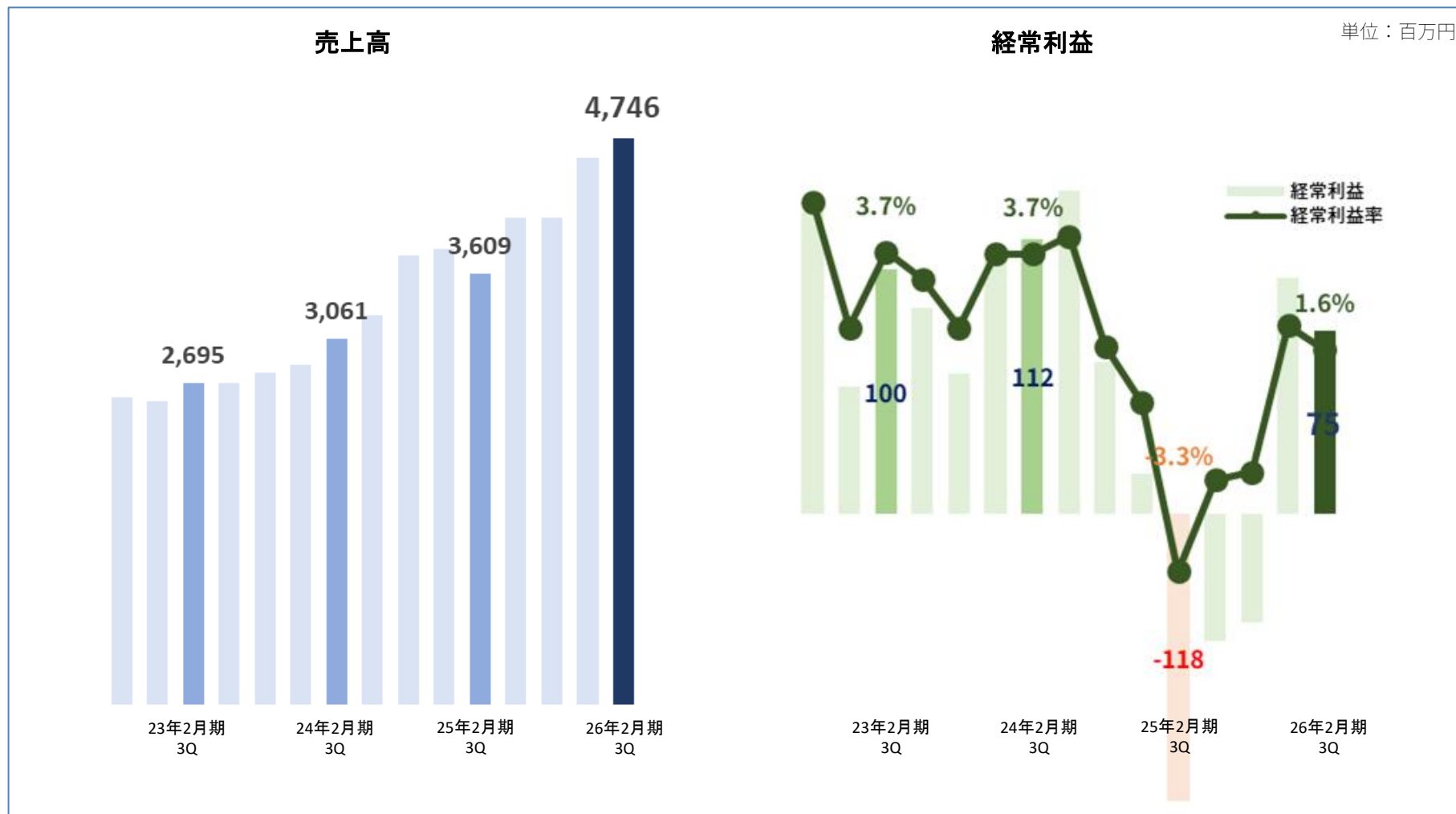
## 業績ハイライト：前年同期比（連結）

科目	2026年2月期 3Q累計	2025年2月期 3Q累計	増減率
売上高	13,407 百万円	11,188 百万円	+19.8%
営業利益	153 百万円	△12 百万円	+1,375%
経常利益	126 百万円	△40 百万円	+315%
当期純利益	105 百万円	△443 百万円	+123%

※営業利益・経常利益・当期純利益は前年のサイバー攻撃によるマイナス計上から黒字転換

# 四半期別推移

昨年度のサイバー攻撃による停滞を脱し、四半期ベースで過去最高の売上ペースを更新中。



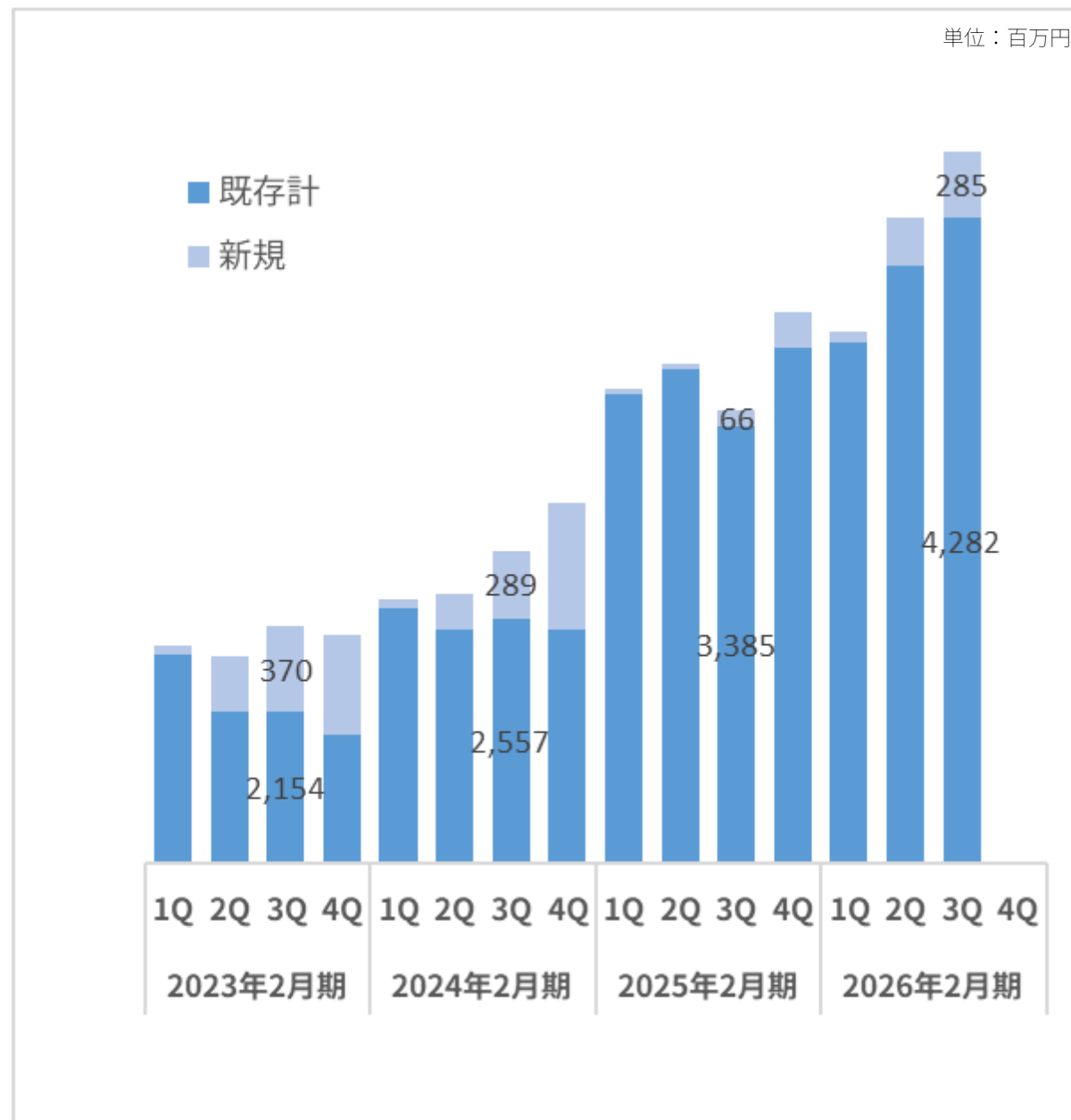
# 物流サービス事業

## 堅調な物量回復と新規獲得

- 3Q累計売上：126億円（前年比2桁成長）
- 高級ブランド案件・飲料案件が堅調に推移。
- 新規案件も着実に増加。

## 収益性改善への取り組み

- 荷主企業のセール需要が好調、荷動き加速。
- 新センター（尼崎）の立ち上げも順調に進捗。
- 倉庫稼働率の向上(転貸等)に向けた施策を加速。



# ITオートメーション事業

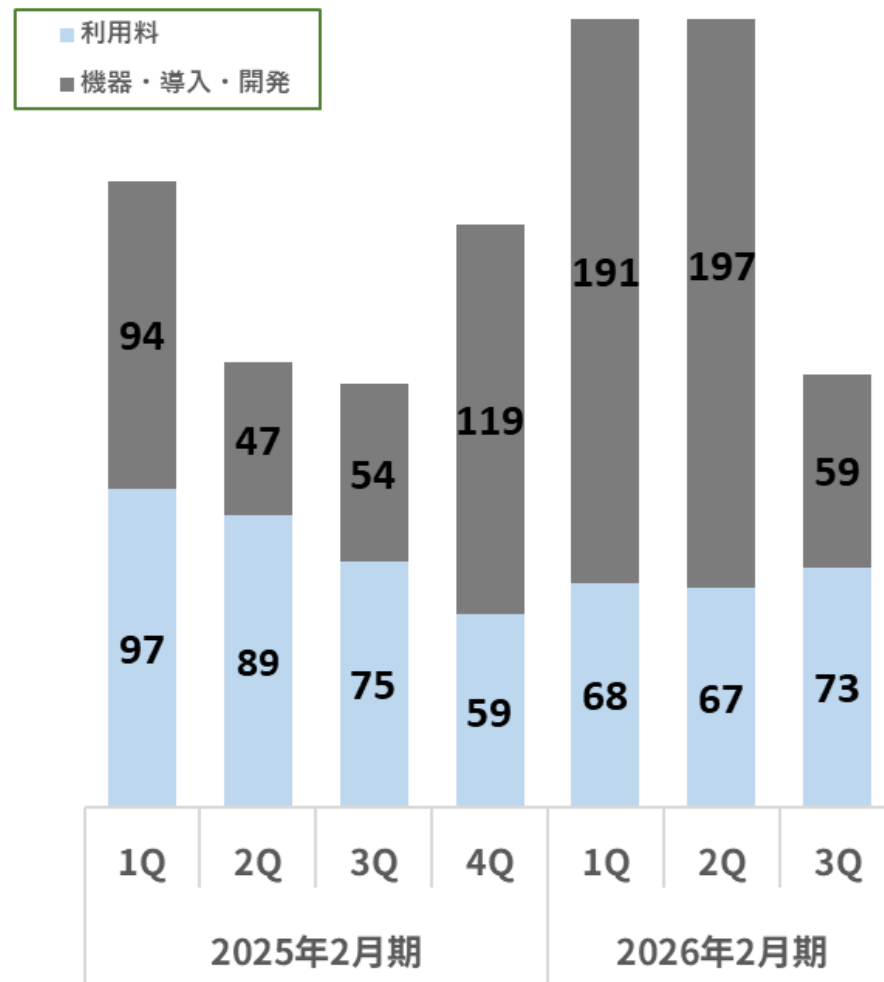
「物流現場の武器」を外販へ

売上高: 約8.1億円 (クラウドトーマス等)

## 利用料売上が増加基調に復活

- 大型リプレイス成功: 他社WMS（倉庫管理システム）からの乗り換え案件等、利用料増。
- ITの提供から、実務を担うパートナーへ: 「システムを売る」のではなく、「システムを使った業務代行を売る」へと考え方をシフト、お客様へのサービス提供を促進。

単位：百万円



# サイバーガバナンスラボ

被災経験を「社会的価値」へ。

サイバー・レジリエンス（復旧支援）事業の垂直立ち上げ

## 事業の背景：防御だけでなく「復旧力」が問われる時代

サイバー攻撃を「完全に防ぐ」ことが困難な現代において、企業には攻撃を受けた後にいかに早く事業を復旧させるか（レジリエンス）が求められています。

社会的意義大

ESG/BCP対応

## 当社の強み：実体験に基づく「実戦的」バックアップ・復旧

### 1 「教科書通り」ではない、泥臭い復旧ノウハウ

過去の被災経験がある当社だからこそ、現場の混乱やボトルネックを熟知。机上の空論ではない、有事に本当に機能する手順を提供。

### 2 「侵入前提」のバックアップ環境構築

ランサムウェア対策に特化した不変ストレージの導入や、ネットワーク分離環境の構築など、攻撃者の手口を知る視点で設計。

## ローンチ後の進捗（トラクション）

サービス開始(7月)からの導入社数推移



TOTAL CLIENTS

40社超

7月開始から半年で垂直立ち上げ

「他社の提案は一般的だったが、御社の『実体験に基づく対策』は説得力が圧倒的に違った」

- 製造業 情報システム部長

今後は中堅・エンタープライズ企業への展開を加速し、日本企業のセキュリティ水準向上に貢献する

## 計画に対する進捗：2026年2月期第3四半期時点

科目	2026年2月期 通期_計画	2026年2月期 第3四半期_実績	進捗率
売上高	17,805 百万円 (上方修正後)	13,407 百万円	75.2%
営業利益	259 百万円	153 百万円	59.0%
経常利益	260 百万円	126 百万円	48.4%
当期純利益	187 百万円	105 百万円	56.1%

※営業利益・経常利益・当期純利益は前年のサイバー攻撃によるマイナス計上から黒字転換



## 2026年2月期計画：対前年比

科目	2026年2月期_計画	2025年2月期_実績	増減率
売上高	17,805 百万円 (上方修正後)	15,270 百万円	+16.6%
営業利益	259 百万円	△47 百万円	+651%
経常利益	260 百万円	△92 百万円	+382%
当期純利益	187 百万円	△848 百万円	+122%

※営業利益・経常利益・当期純利益は前年のサイバー攻撃によるマイナス計上から黒字転換

# ホールディングス化と今後の成長戦略

## Re-Growth

物流 × ITの  
ハイブリッド経営

---

企業価値の最大化へ

- 単なる物流事業会社からの脱却：ITやAI・ブロックチェーンなどの最先端領域への展開を加速することで、従来の枠を超えた変革を推進。もはや物流事業のみを行う会社ではないことを明確に打ち出し、未来を見据えた事業展開でグループの飛躍を実現します。
- 収益機会の拡大：それぞれの領域での知見を深く掘り下げ、圧倒的なスピード感をもって新たな「種」、つまり競争力の高い新サービスや技術を生み出す
- 株主還元：安定配当と株主優待を通じた長期的なファン形成。

# 免責事項

## 免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内およびに国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



### 【お問合せ先】

株式会社関通 IR担当

お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。

URL： <https://www.kantsu.com/>

### IR専用フォーム

